

飛翔 人権通信 6月

人権教育・啓発通信：「飛翔」
発行：那賀川中学校
(No.3) 2026(令和8)年6月30日(火)
文責：人権教育主事 中岡 和也

6月も終わりに近づき、雨の多い時期となっていますが、時折見られる青空が本格的な夏の訪れを感じさせます。今後、ますます気温も高くなり暑い日が続きますが、栄養と休養をしっかりとってこの夏を乗り切れるようにしましょう。

6月は、1・3年生が遠足を実施しました。県外に出て、仲間との交流を深め、これまで以上に学級の仲間のよさに気付けたことだと思います。2年生は、1月の修学旅行に向けて、学びを深めていきましょう。

部活動では、県総体南部ブロックが行われました。練習の成果を発揮できましたか？「勝利」という結果を求めることも大切ですが、暑い日も寒い日も部活動の仲間と支え合いながら頑張ってきた時間を忘れないようにしてください。

今後も学級・学年の仲間を大切にすることや、部活動の仲間と助け合いながらベストを尽くすことができるようにしてほしいです。

◇ 1年生校外人権学習

1年生では、6月4日(木)に高知市立南海中学校にて校外人権学習を行いました。紫雲丸遭難事故や教科書無償運動について学びました。紫雲丸遭難事故のお話では、無事を祈る母親たちの姿や仲間をなくした悲しみを知り、命の尊さについて改めて考える機会となりました。また、教科書無償運動のお話では、「正しく知らなければ、差別する側になってしまう」ことや「子どもの幸せをおもう、保護者や教職員の粘り強いたたかい」などを聴いて、より一層人権教育の大切さを感じることができました。

1年生のみなさんは、今後も同和問題をはじめさまざまな人権問題を「自分ごと」としてとらえ、差別解消に向けて自分に何ができるのかを考えてほしいです。

紫雲丸遭難事故で南海中学校の生徒が28名亡くなったことを知りました。この学習をとおして、改めて命の大切さを知ることができました。これからは、那賀川中学校の校訓「いのちを大切に」を守っていきたいです。(1年 小川 怜依里さん)

僕は、人権講話を聴いて、正しいことを知って行動するのが大切だと思いました。生まれた場所で差別するのは絶対にいけないことだと思いました。これからは、正しいことを知って行動できる人でありたいです。(1年 片田 幸佑さん)

僕は、紫雲丸遭難事故を知って、改めて命の大切さを学びました。また、教科書無償運動のお話を聴いて常に何が正しいかを考えることが大切だと思いました。自分が正しくないと思ったら、しっかり他の人に話していきたいです。

(1年 青木 理さん)



◇ 2年生の人権学習

2年生では、6月1日(月)に人権かるた取りを行いました。人権かるたの言葉を通じて、自分や周囲の生活に潜む人権問題に気付くとともに、取り終わった札をみんなで見て、共感できる言葉や体験を話し合う機会となりました。2年生のみなさんには、人権かるた取りをとおして、社会に見られる人権問題を「自分ごと」として捉え、日常の行動に生かせるようにしてほしいです。



◇ 3年生人権作文意見発表会

3年生では、6月25日(木)に人権作文意見発表会を行いました。学級代表の生徒が身近にある人権問題や自分自身の実体験などさまざまな視点で発表することができていました。また、人権作文の発表を聴いて感想を書く時間を設けたことで、より深まりのある人権作文意見発表会となりました。

私は、今日発表する側だったので、すごく緊張したし、初めての経験でドキドキしました。他の人の発表も、自分の意見や調べてきたこと、自分の体験を語っていて、すごく自分にはない新しい発見をすることができました。様々な人権課題が増えていく一方で、私たちが知り、伝えていくことが大切だと思いました。

(3年 斎藤 歩さん)

自分が知らないうちにもっている固定観念に気付き、相手のことを理解しようとしていくことが大切だと思いました。また、「知ろう」という気持ちを忘れず、知り続け、考えて、それを行動に移せる人になりたいです。まずは、自分にできることを見付け、今日から小さなことから始めていききたいです。(3年 山本 京さん)

◇ 平島・今津人権ふれあい子ども会開講式

6月8日(月)に平島人権ふれあい子ども会で、6月11日(木)に今津人権ふれあい子ども会で開講式を行いました。今年度は、平島人権ふれあい子ども会に1名、今津人権ふれあい子ども会に2名が加わり、今年1年活動していくことになります。この1年間、様々な出会いがあります。その一つ一つの出会いを大切にしながら活動に励んでほしいです。



